

# 地域で協力して地震対策を!

大地震が発生したとき、交通網の寸断、同時に多発する火災などにより、消防や警察などの公共機関が十分に対応できない可能性もあります。そんな時力を発揮するのが、「地域ぐるみの協力体制」です。実際に阪神・淡路大震災時には、地域のみなさんが自発的に救出・救助活動を行うことで被害の拡大を防ぎました。昨年の東日本大震災でも救助活動に、復興にと、大きな力を発揮しています。

自主防災組織とは、地域の人々が自発的に防災活動を行う組織です。「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えで積極的に自主防災組織に参加し、災害に強いまちをつくりましょう。



## 自主防災組織の役割

### 平 常 時

災害に備えるための活動を、日ごろから行います

#### 地域内の安全点検

地域内の危険か所や問題点を洗い出し、改善します。

#### 防災知識の普及・啓発

住民一人ひとりが防災に関心を持つことが大切です。

#### 防 災 訓 練

いざという時のために、地域一体となって訓練を。



### 災 害 時

災害発生時に、人命を守り、被害の拡大を防ぐために行動します

#### 初 期 消 火

出火防止や初期消火活動を行います。

#### 避 難 誘 導

住民を避難所などの安全な場所に誘導します。

#### 救 出 ・ 救 助

負傷者などを救出し、応急手当を行います。

#### 情報の収集・伝達

公的機関と連絡を取り合い、情報を住民に伝達します。

#### 避難所の管理・運営

避難所で給食・給水活動を行います。



坂東市内には153の行政区がありますが、現在147の行政区で143の自主防災組織が結成されています。